

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		工業用水道事業経理事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	水道局	課長名	久留 伸二				
	施策	12	商工業の振興			所属課	上下水道課	担当者名	緒田 友一				
	基本事業	35	企業誘致の促進			所属班	庶務料金班	(内線)	1173				
予算科目	会計	91	款	11	項	1	目	5	事業連番	法令根拠	地方公営企業法	成果優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H09 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		コスト削減優先度評価結果					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	熊本県が平成8年度から造成の始まった第2テクノパーク(現在:セミコンテクノパーク)内のインフラ整備として、工業用水道の建設も平成8年度から始まり、平成10年4月に一部給水を開始し、平成12年度に完成した。これに伴い、当然地方公営企業法適用の工業用水道事業会計が開始された。 平成9年度は、建設事業のみであったが、平成10年度1社、平成13年度3社、平成14年度1社(現在工業用水休止)、平成16年度1社、平成19年度1社、現在計6社に工業用水を供給している。
【業務の流れ】	①工業用水道事業会計における調定・支払事務に伴う、日次・月次・年次の処理及び財務諸表の作成する。 ②毎事業年度終了後、2か月以内に決算を調製し、市長へ提出する。 ③一般会計予算の編成方針・要領等を踏まえ、工業用水道事業会計の次年度予算を作成する。 ④必要に応じて予算の補正を行う。
【主な予算費目】	収益的支出・・・総経費(旅費・負担金・賃借料以外)、減価償却費、資産減耗費、営業外費用、特別損失、予備費 資本的支出・・・備消耗品費(量水器関係以外)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	受水企業2社より料金値下げの要望があった。また、1社より井戸掘削をするとの話があった。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・調定・支払事務、日次・月次報告、財務諸表作成、監査の受検 ・予算書の作成及び予算執行状況の把握・管理、決算書の作成 ・各種負担金(セミコンテクノパーク関連、消火栓、児童手当など)の請求	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
→ ア 伝票処理件数 件	→ ア 正確に処理した伝票の件数 件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 工業用水道事業会計	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
→ ア 伝票を正確に処理した件数の割合 %	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 健全に経営するため、正確かつ適切に処理する。	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア 件	588	559	550	605	550	550	550		
⑤ 対象指標	ア 件	585	552	550	595	550	550	550		
⑥ 成果指標	ア %	99.49	98.75	100	98.35	98.5	98.5	98.5		
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	26,058	26,478	25,211	25,251	21,980	24,990	25,000
		繰入金	千円	2,068	1,821	3,063	1,212	2,507	3,476	3,500
	一般財源	千円								
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	28,126	28,299	28,274	26,463	24,487	28,466	28,500
		(A)のうち指定経費	千円	27,892	28,065	26,889	26,230	23,116	27,081	27,100
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	5	5	12	12	12	12
延べ業務時間		時間	420	776	770	1,069	1,000	1,000	1,000	
(B)人件費計	千円	1,667	3,104	3,065	4,255	3,980	3,980	3,980		
トータルコスト(A)+(B)	千円	29,793	31,403	31,339	30,718	28,467	32,446	32,480		

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

事務事業名	工業用水道事業経理事務	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	概ね達成できたが、伝票作成前の他職員の処理もあり、100%達成は厳しい状況である。		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	伝票作成前の他職員の処理もあり、100%達成は厳しい状況である。対策としては、達成率を下げる必要がある。		
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	適切に処理しているため向上の余地はない。		
有効性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	商工振興課の事務事業との統廃合・連携の可能性があると考えられる。		
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	最小限の予算・人員のため削減の余地がない。		
効率性評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	最小限の人員のため削減の余地がない。		
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	セミコンテックパークの立地企業すべてに受益機会があるため公平・公正である。		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的妥当性・・・</li> <li>・有効性・・・</li> <li>・効率性・・・</li> <li>・公平性・・・</li> </ul>
--

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
・商工振興課の事務事業との統廃合・連携の可能性があると考えられる。																								

## (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・商工振興課との統合については、機構改革が必要である。
-----------------------------